

女性活躍推進事業【藤枝市】

総事業費	858 千円
交付金額	429 千円

地域の実情と課題

- 育児休業を取得した男性従業員・・・6.0%(R2藤枝市企業意識調査)
→全国的な平均12.7%と比較しても低い状況
- 「男女共同参画に関する市民意識調査」(R2藤枝市実施)
→「管理職につくことを望みますか」の設問について、女性で「望まない」との回答した人が51.4%と過半数以上の女性が管理職を望まない状況となっている

事業の特徴

- 男性の育児休業の取得への理解促進と男性従業員の取得に対する不安を和やわらげることが目的とした「育休シンポジウム」を開催。その様子を地域みっちゃく生活情報誌ふじえーらに掲載し広く周知し、市民の意識改革を図る。
- 女性の管理職比率を上げるため、女管理職候補者を対象とした「女性ビジネススクール」を開催。管理職に必要なスキルや気構えを学ぶ場を提供。

事業の効果

- 育休シンポジウムの参加者 70名 (目標50名)
《参加者アンケート》
・男性の育児休業取得促進への理解が深まった人の割合 97.6% (目標75%)
- 女性ビジネススクールの参加者 23名 (目標20名)
《参加者アンケート》
・将来、管理職になりたいと思う人の割合 83.3% (目標75%)
いずれも目標値を上回り、事業の効果があつたと考えている。

目的・目標

- 【目的】
男性の育児休業取得促進と女性の管理職比率を上げることで女性活躍の推進を図る。
- 【目標】
○育休シンポジウムの参加者 50名
○男性育児休業への理解が深まった人の割合 75%
○女性ビジネススクールの参加者 20名
○管理職になることに対して前向きになった方の割合 75%

連携団体

- 藤枝商工会議所・岡部町商工会
・育休シンポジウム及び女性ビジネスセミナーの広報周知の支援
- 中部5市2町
・広報、周知の支援

今後の課題

セミナーの参加者へは、一定の意識の向上や実際の実践を促すことができたと考えているが、この効果を市内全体に広めていくために、継続的な啓発とセミナー等の開催が必要である。
男性育児休業の取得率と女性の管理職比率を上げていくため、継続的な広報が必要である。

◆育休シンポジウム



藤枝市育休シンポジウム

第1部 夫婦で考えるマネープラン ～子育てに必要なお金の話し～【講演】

講師：安藤 絵理 氏（ファイナンシャルプランナー・静岡県金融広報アドバイザー）
子育てでかかる費用ってどれ位？貯蓄や投資ってどうすればいいの？子育てに必要なお金の準備は？ファイナンシャルプランナーの経験からアドバイスいたします。

第2部 実際どうなの？パパの子育て【トークセッション】

「専業主婦に男性の家事・育児や生活が仕事にどう影響しているかについて、ペッツホールディングスの大塚さん、静岡銀行の鈴木さん、動物療育の幸治さんが各1コマずつ参加いたします。
コーディネーターは、みんなの応援隊さんとして話題の土肥潤也さんです。

令和4年 7/18 (祝・月) 13:30～15:45

会場：生涯学習センターホール 藤枝市東町1丁目5-5
対象：市長（近藤和幸氏）や企業の人事担当者 計50名程度

①電話または名刺のQRコードより申込み
②募集申込書をFAXまたは郵送
※郵送サービス有（決着済）

問い合わせ 藤枝市 男女共同参画・多文化共生課
☎ 054-643-3198 ② idanopcity.fujieda.shizuoka.jp

【概要】

男性の育休取得を促進及び市民への理解促進を図り、男性の育児休業取得率を上げることで女性活躍推進を図る。

○日 時 令和4年7月18日（月・祝）13時30分～15：45分

○参加者 70名

【1部】講演：夫婦で考えるマネープラン ～子育てに必要なお金の話～

○講 師 安藤絵理 氏

（ファイナンシャルプランナー・静岡県金融広報アドバイザー）

【2部】トークセッション：実際どうなの？パパの子育て

育休取得者の経験談や企業の管理職の立場から男性の育休をどう考えるかの本音トーク

○登壇者

コーディネーター 土肥潤也 氏（一般社団法人 トリナス代表理事）

企業サイド：大塚美保 氏（ペッツホールディングス(株)副社長）

男性育休取得者：2名 配偶者が取得した者：1名

◆女性ビジネススクール（2回シリーズ）

【概要】

管理職として必要な知識や気構えを学ぶとともに、異業種間での人脈を形成することで、市内の企業における女性管理職を育成し、女性管理職の比率を上げる。 ○会 場 藤枝地区交流センター 集会室

≪1回目≫○日 時 令和5年1月13日（金）13時30分～17時00分 ○参加者 11名

○講 師 寺澤のぞみ 氏（株Nuevo lab代表）

○テーマ 組織の中に自分を見つける～貢献の範囲を広げよう～

≪2回目≫○日 時 令和5年1月20日（金）13時30分～17時00分 ○参加者 12名

○講 師 橋本恵子 氏（ことのはスクエア 代表）

○テーマ 組織の中に自分を見つける～貢献の範囲を広げよう～